

ジュニア ミュージアム



「あらしのよるに」を
読んで

皆野小3年

井深 廉くん



ぼくは、夏休みに「あらしのよるに」を読みました。テレビで見たことがあったので、どんな話か知っていたけれど、読んでみました。

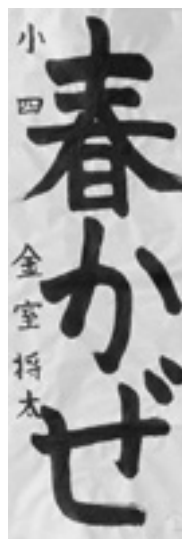
やぎとオオカミのゆうじょうの話です。

ふつうオオカミは、やぎを食べべてしまうらしいですが、この

皆野小4年

金室将太くん

(評) 行の中心に気をつけて、のびのびとした字が書けました。



オオカミはちがいます。やぎのためにたたかつたりします。なかまにきらわれて、山をおい出されました。でもやぎといっしょに力を合わせて生きていきま

した。

ぼくは、ふだん友達にやさしくできているか考えました。

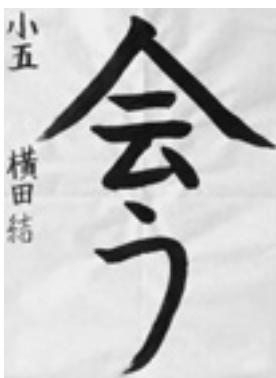
たまにケンカをすることがあります。でもなかなかおりをしたあとにはうれいします。そして、友だちと前よりなかなよくなれた気がします。ぼくもこのやぎとオオカミのように友だちにやさしくしたり、あいてのきもちを考

えたりできるようになりたいです。

(評) 思いやることの大切さがかつてい、廉くんらしい感想です。

三沢小5年

横田 結さん



(評) 伸び伸びとした作品になりました。右はらいが上手にできました。

「ゆめのくに」

国神小1年

倉林萌々花さん



(評) あかるいいろで、のびのびとしあげられています。ゆめのくにで、あそびたいですね。



「みんなで奏でる

絆のメロディー」

皆野中芸術部の皆さん



(部長・茂木志帆さんのコメント)

今回、私たちが作成したこの壁画は、小さなB4サイズの絵をもとに作り上げました。部員の数は少なく、たつたの7人。B4の絵をもとにするには多少無茶では？というくらい大きな紙。その大きさは教室の横幅よりもあります。この壁画は数年前の芸術部から始まったもので、今の私たちまで受け継がれてきました。本当に大きな壁画で、今はもう部活を引退した先輩方の手も借りて、この壁画は完成しました。